

5. 平成 29 年度 ISO/TC272 国内審議委員会活動報告

Report of ISO/TC272 National Committee Activity in 2017

宮地 勇人 (ISO/TC272 国内審議委員会委員長、東海大学医学部基盤診療学系臨床検査学教授)
Hayato Miyachi MD, PhD (Chairperson of ISO/TC272 National Committee, Professor of
Laboratory Medicine, Tokai University School of Medicine)

1. 国内検討委員会構成メンバー (資料 I 参照)
委員 22 名
 2. ISO/TC272 の概要
 - 1) 名称 : Forensic Science (法科学)
 - 2) 議長 : Linzi Wilson-Wilde
(AU/Standards Australia)
 - 3) 幹事国 : AU / Standards Australia (SA)
 - 4) Secretary : Monja Korter (SA)
 - 5) 日本国事務局 : 日本工業標準調査会 (JISC)
/ 日本臨床検査標準協議会 (JCCLS)
 3. 加盟国
 - 1) P-メンバー国 23 ヶ国 (加盟国標準機関名・略称)
Australia (SA), Austria (AS), Belgium (NBN), Canada (SCC), Denmark (DS), Egypt (EOS), France (AFNOR), Germany (DIN), Hungary (MSZT), Italy (UNI), Japan (JISC), Mexico (DGN), Netherlands (NEN), New Zealand (SNZ), Poland (PKN), Russian Federation (GOSTR), Serbia (ISS), Singapore (SPRING SG), Spain (AENOR), Sweden (SIS), Switzerland (SNV), United Kingdom (BSI), United States (ANSI)
 - 2) O-メンバー国 18 ヶ国
Argentina (IRAM), Bulgaria (BDS), China (SAC), Cyprus (CYS), Czech Republic (UNMZ), Finland (SFS), Islamic Republic of Iran (ISIRI), Republic of Korea (KATS), Malaysia (DSM), Malta (MCCAA), Mongolia (MASM), Philippines (BPS), Portugal (IPQ), Romania (ASRO), Slovakia (UNMS SR), Thailand (TISI), Uganda (UNBS), United Arab Emirates (ESM)
 - 3) 連絡団体 (Liaisons) : ISO/IEC 内委員会 6 委員会
ISO/CASCO (Committee on Conformity Assessment)
ISO/IEC JTC 1/SC27 (IT Security techniques), ISO/IEC JTC 1/SC37 (Biometrics),
ISO/TC106 (Dentistry), ISO/TC276 (Biotechnology), ISO/TC292 (Security and resilience)
4. 2017 年度審議作業 (資料 II 参照)
 - 1) ISO/TC272 作業項目と進行状況
 - (1) ISO/FDIS 21043-1 Forensic Analysis
Part 1 : Terms, definitions and framework 「法科学解析—用語とフレームワークの定義」
* 承認段階
 - (2) ISO/FDIS 21043-2 Forensic Analysis -
Part 1 : Recognition, recording, collection and storage of material 「法科学解析—第 2 部 : 試料 (資料) の確認、記録、収集、輸送と保管」
* 承認段階
 5. 国際会議
 - 1) 第 8 回全体会議 (総会、WG1 会議)
 - (1) 開催日 : 2017 年 5 月 8 日 - 11 日
 - (2) 開催地 : スペイン・マドリッド

(キャニラス警察本部)

- (3) 参加国、参加者：39ヶ国 25名
宮地委員長、塩谷委員、杉本委員、
保谷委員、柘委員、加藤委員（経産省）
の6名。
- (4) 審議内容：ISO/CD 21043-1、ISO/CD
20962 に寄せられたコメントについて逐
条的に検討した

2) 第9回全体会議（総会、WG 会議）

- (1) 開催日：2017年11月7日-10日
- (2) 開催地：日本・東京（中野サンプラザ）
- (3) 参加国、参加者：13ヶ国 42名
宮地委員長（東海大）、大澤副委員長（東
海大）、笠井委員（科警研）、柘委員（科警
研）、関口委員（科警研）、川西委員（経産
省）
- (4) 審議内容：経産省・産業技術環境局国際
標準課総括基準認証推進官 中野裕二氏
と高木 JCCLS 会長が主催者からの挨拶
を行った。その後、TC272 活動の総括報
告、次年度の方針、全体議案の討議を行う
とともに、ISO/DIS 21043-part 2、
ISO/DIS 21043-part 1 に対する各国から
のコメントに対する審議を行った。
日本法科学技術学会第23回学術集会のイ
ベントとして Linzi Wilson-Wilde 議長が
タイトル「International efforts to
develop standardization in forensic
science」の教育講演を開催した。講演後

には、法科学製品メーカー4社から ISO
準拠製品についての発表を開催した。ISO
総会参加メンバーを含めて 172 名が教育
講演に参加した。

第9回総会をホスト国として円滑に開催
することが出来き、法科学関係者への国
際標準化活動の啓発の機会となった。

6. 国内審議委員会開催と活動状況

1) 国内審議委員会

- (1) 平成29年度第一回 ISO/TC272 国内審議委
員会を2017年4月24日開催
委員 14名（経産省1名）出席
規格審議状況、活動報告について審議
- (2) 平成29年度第二回 ISO/TC272 国内審議委
員会を2017年8月23日開催
委員 15名（経産省1名）出席
規格審議状況、活動報告について審議
- (3) 平成29年度第三回 ISO/TC272 国内審議委
員会を2018年2月5日開催
委員 8名（経産省1名）出席
規格審議状況、活動報告について審議

2) 経済産業省へ平成29年度成果報告と平成30 年度活動計画を提出

資料 I

職名	氏名	所属
委員長	宮地 勇人	東海大学医学部基盤診療学系 臨床検査学
副委員長	大澤 資樹	東海大学医学部基盤診療学系 法医学
委員	桑 克彦	(一社)臨床検査基準測定機構
委員	堤 正好	(株)エスアールエル マーケティング部門
委員	奥野 欣伸	テルモ(株)
委員	岩瀬 博太郎	千葉大学大学院医学研究院 法医学教室
委員	松本 年雄	日本適合性認定協会 認定センター 化学試験プログラムマネージャー
委員	加藤 二子	経済産業省産業技術環境局 国際標準課
委員	川西 安大	経済産業省産業技術環境局 国際標準課
委員	笠井 賢太郎	科学警察研究所法科学第一部生物
委員	関口 和正	科学警察研究所法科学第一部
委員	安野 拓也	科学警察研究所法科学第二部機械
委員	柘 浩一郎	科学警察研究所法科学第三部科学
委員	鎌田 敏明	科学警察研究所法科学第四部情報科学
委員	和智 妙子	科学警察研究所犯罪行動科学部操作支援
委員	麻生川 稔	日本電気(株)
委員	宮木 香代	(株) エクシール
委員	塩谷 悠介	警察庁・刑事局
委員	辻川 健治	警察庁・刑事局
委員	角田 英俊	警察庁・刑事局
委員	斎藤 智子	警察庁・刑事局
委員	内田 勝輝	警察庁・刑事局
委員	杉本 利広	警察庁・刑事局
事務局	加藤 英夫	日本臨床検査標準協議会事務局
事務局	関 顯	日本臨床検査標準協議会事務局

資料Ⅱ

文書番号	英語規格名称	日本語規格名称*	審議状況
ISO 18385 : 2016	Minimizing the risk of human DNA contamination in products used to collect, store and analyze biological materials for forensic purposes-Requirements	法科学目的の生物試料（資料）を収集、保管と分析する為に使用する製品にヒトDNA 汚染のリスクの最小限化 ー要求事項	2016-01-28 発行
ISO/FDIS 21043-1	Forensic Analysis - Part 1 : Terms, definitions and framework	法科学解析ー用語とフレームワークの定義	投票開始 (WG2)
ISO/FDIS 21043-2	Forensic Analysis - Part 2 : Recognition, recording, recovering, transport and storage of material	法科学解析ー第2部：試料（資料）の確認、記録、収集、輸送と保管	投票開始
ISO/NP 21043-3	Forensic Analysis - Part 3 : Analysis and examination of material	法科学解析ー第3部試料（資料）の分析及び試験	新規プロジェクトの承認 (WG4)
ISO/NP 21043-4	Forensic Analysis - Part 4 : Interpretation	法科学解析ー第4部 解釈	新規プロジェクトの承認 (WG4)
ISO/NP 21043-5	Forensic Analysis - Part 5 : Reporting	法科学解析ー第5部 記録	新規プロジェクトの承認 (WG5)
ISO/NP 20962	Forensic sciences - Vocabulary	法科学ー用語	'15 12/14 承認
ISO/PWI 20964	Forensic sciences - Specification for consumable used in the collection, preservation and processing of material for forensic analysis - Requirements for product	法科学ー法科学解析の試料（資料）の収集、保管と処理に使用する消耗品の規格ー製品に関する要求事項	'15 08/10 起案